

伊豆シャボテン動物公園



リュウゼツランは一生の終わりに一度だけ咲く！
「酒竜舌（サケリュウゼツ）」の黄色い花が見頃に
～花茎の高さ約 8m！巨大な「猛竜舌（モウリュウゼツ）」はもうすぐ開花～

2023年6月19日
株式会社伊豆シャボテン公園

つぼみ 開花

2023/5/18 2023/6/7

巨大なリュウゼツランが開花

Native to Mexico

花が咲くまでに
30～40年！
一生の終わりに
一度だけ開花する
「リュウゼツラン」

IZU SHABOTEN ZOO

つぼみ 開花

2023/5/18 2023/6/16

満開

2023/6/16

酒竜舌-サケリュウゼツ-
Agave atrovirens

花茎からとった樹液を
発酵させたものが「ブルケ」、
蒸留したものは「メスカル」という
お酒になります。

もうすぐ
開花

2023/6/16

猛竜舌-モウリュウゼツ-
Agave atrovirens

アガベ属の中でも特に大きくなる種です。花を咲かせるため、
花茎を10mほど
伸ばすものもあります。

伊豆シャボテン動物公園では、巨大なリュウゼツラン「酒竜舌（サケリュウゼツ）」が6月初旬から開花し始め、ただいま見頃を迎えています。また、「猛竜舌（モウリュウゼツ）」の花穂の成長が進み、もうすぐ開花という状況となっております。この2株のリュウゼツランは、昨年2022年冬から花茎が少しずつ伸長し始め、春本番を迎えた4月頃から著しく成長し、ゴールデンウィーク頃の好天とその後の高温・多雨も影響して、いよいよ開花の時期を迎えました。

「酒竜舌」は2017年に温室から移植され、園内「カピバラ虹の広場」横のスペースで開花しております。また、「猛竜舌」は、第5温室「メキシコ館」と「シャボテン狩り工房」の間の通路へ20年前に移植されたもので、近年では周辺のリュウゼツランに比べてひととき大きく育っていました。いずれもリュウゼツラン属（アガベ属）の多肉植物で、開花期になると巨大なアスパラガスのような花茎を伸ばし、5～10mに達したところで水平に伸びた花芽からクシ状の黄色い花を咲かせます。生涯の終わりに一度だけ開花し、花が咲き終わるとその株はゆっくりと枯れてゆきます。花が咲くまでに30～40年を費やすため、古くは、100年に一度開花する“センチュリー・プラント”とも言われていました。



【酒竜舌（サケリュウゼツ）】

学名：*Agave atrovirens*
分布：メキシコの中央高原
30年ほど生育すると、花茎を伸ばし黄色い花を咲かせ、花後は枯死してしまいます。
開花する直前の花茎を切ると、樹液がにじみ出て、それを発酵させたもの「ブルケ」、蒸留したものは「メスカル」と呼ばれるお酒になります。



【猛竜舌（モウリュウゼツ）】

学名：*Agave atrovirens*
分布：メキシコ
アガベ属の中でも特に大きくなる種で、葉の幅が広く鋭いトゲを持っています。
一生の終わりに一度だけ花をつける性質があり、当園のこの株も花を咲かせるため、高さ8mほどにもなる花茎を伸ばしました。

お問い合わせ先：株式会社伊豆シャボテン公園 企画広報部
TEL:0557-51-1115(代) URL:<https://shaboten.co.jp/>
〒413-0231 静岡県伊東市富戸 1085-4